

発行

岡山県民主医療機関連合会

岡山市北区下伊福西町 1-53

岡山県民会館 3 F

TEL (086) 214-3911

2019年10月号 No.341

E-mail: kikanshi@okayama-min-iren.org

URL: http://www.okayama-min-iren.org

おかやま民医連

「職場で感じる・あるある川柳」職員育成について募集

職場で感じていることを川柳にしてみませんか？優秀作品は11月30日に開催する青年職員の育成をすすめる交流集会で表彰します。

応募方法…事業所に配布している応募用紙に川柳・氏名・事業所・民医連歴・ペンネームを書いてお送りください。

送り先 FAX…0862143914

岡山県民医連（大坂）

締切…11月22日（金）

「ありのままの自分を受け入れて欲しい」

全日本民医連 認知症懇話会

9月27、28日と第9回全日本民医連認知症懇話会 in 岡山

がホテルグランヴィア岡山で開催され、両日で延べ参加者数約820名の盛会となりました。

これだけ多くの方々が参加したことは認知症に対する関心の高まりの現れであり、認知症への取り組みが喫緊の課題であることを示すものです。今回、私は実行委員長を務めました

が、何よりもまずそのことを強く実感する集会となりました。1日目は、岡山県連各事業所からの報告、講演と分科会

をおこないました。動画を駆使

した各事業所での認知症への取り組みの紹介映像は好評でした。続いて講演した津田由起子

さんは、「目の前のその人を支える。在宅にこだわる」の理念に基づき、1996年倉敷市船

穂町に「ぶどうの家」を立ち上げました。講演の中で、目指すケアとして「つなぐ・切らない・うばわない」「希薄になつていく本人と家族・友人との関係を切らない、環境をつなぎとめる」をあげ、あえてバリアを残すなど、普通の暮らし、普通の感覚

える、すばらしい講演でした。

7会場に分かれて行われた分科会では、口演78、ポスター76合わせて154の演題が発

表されました。どれも力のこもった内容で、認知症ケアチームや認知症カフェ、病院や施設での安全と尊厳を守る医療・ケアの工夫、歯科からの報告など

多彩な内容でした。夜の夕食懇親会では、クラリネット演奏とうらじや踊りでもてなし、岡山らしさを出せた内容になりました。

今回の懇話会では、日本認知症本人ワーキンググループの

「認知症とともに生きる希望宣言」が紹介されました。ここに全文を載せます。

「認知症とともに生きる希望宣言」は、わたしたち認知症とともに暮らす本人一人ひとりが、体験と思いを言葉にし、それらを寄せ合い、重ね合わせる中で、生まれたものです。今とこれから生きていくために、一人でも多くの人に一緒に宣言をしてほしいと思っています。

この希望宣言が、ささなみのように広がり、希望の日々に向けた大きなうねりになっていくことを「ここから願っています」

竹内裕さんは認知症を生きる工夫として、ダンスをやめてウォーキングクローゼットにして見てすぐわかるようにしたり、銀行でも郵便局でも担当者

を一人に決めること、必要なものを透明なケースに入れて持ち歩くことと探さなくてすむことなどを紹介しました。そしてす

べてを自分でやろうとせず、周りに頼れる人間関係を持つことの大切さを語りました。

また、樋口直美さんは「認知症のことを『認知』と隠語のように呼ばないでほしい」「指示が入らない、という言葉も不適切。大じやないんです」と医療・ケア従事者の言葉が当事者を傷つけていることを話しました。今回の座談会のタイトルは「認知症とともに生きる」尊厳が守られるケア・まちづく

りへ向けて」としました。認知症の人の尊厳を守ることがどういうことか、当事者の生の言葉から学んだ瞬間でした。

頂いた感想文からも、「認知症の方とともに生きていくことを深く学んだ」「今回は参加だけだったが次回は演題を発表したい」などの声が寄せられました。次回は2年後、奈良民医連の担当で行われる予定です。

藤田 文博

（岡山ひだまりの里病院）

点 滴

▲2019年10月から介護職員特定処遇改善加算の算定が可能になりました。これまでの処遇改善加算に加え、経験・技能を持った介護職員を評価し、一人当たり月額8万円の賃上げを目標とする制度です。所属する法人で勤続年数10年を基本としつつも他法人の経験も通算可能であるとか業務や技能等を勘案して事業所の裁量で柔軟に設定可能であるとか随分幅の広い解釈ができそうな制度です。

▼①経験技能のある介護職員②その他の介護職員③それ以外の職員。この3グループに分類し、②は③の2倍。①は②の2倍の賃上げでなくてはなりません。更に年収440万円を超える職員がいる場合は必ずしもこのルール通りでなくとも良いとか③の職員は年収440万を越えないようになど細かい決まり事がたくさんあります。▼現状介護福祉士資格の取得者の大半は、働きながら実務経験を積み、実務者研修受講後に国家試験を受験しています。介護福祉士の資格を評価することは悪い事ではありませんが資格を取得していなければ評価対象にならないということや、職員をグループに分けて賃金で評価するというのは発想だけでは介護全体の底上げにはならないと思えてなりません。▼働きの

がら受講費用を工面し、学習時間を確保できる仲間ばかりではないことを私たちは知っています。患者様利用者様だけではなく、働く私たちの仲間も平等であるべきという理想を忘れてはならないと感じる日々を送っています。



日本各地から大勢参加されました

を大切にしているケアの実践が語られました。その姿勢は、昨年の西日本豪雨災害で真備町の小規模多機能施設が水没した際にも貫かれており、利用者者を第一に考え、在宅支援を続けてきました。

災害時ににおける支援の在り方を考える。認知症の人はわからない人た

認知症の人はわからない人た



本人座談会のみなさん

「Let's think」平和に向けて ホームランじゃけん」 中四地協広島DANS



平和公園周辺の碑巡りフィールドワーク



カンパ用の手作りタオルで記念撮影

8月9〜10日、第16回中四国地協広島DANSが開催されました。被爆74年目を迎えた広島に中四国の看護学生51名、職員44名の計95名が集結し、「戦争と平和」について学び意見交換と交流を行いました。

1日目は、平和ゼミ卒業生の広島職員の方をピースナビゲーターとしてお招きし、平和公園周辺の碑を巡るフィールドワークを行いました。

2日目は、大交流会が行われ、今年4月にリニューアルした平和記念資料館を見学したり平和の大切さについて学習しました。その後、各々が感じた平和への思いを胸にグループディスカッションを行いました。

平和のために何が必要なのか、何が出来るのか意見をまとめ「学びを共有する、伝える、発信する」など各グループが学んだことを発表しました。

カンパをして頂いた方々のご厚意により、楽しく交流し充実した学習を行うことができました。本当にありがとうございました。

岡田しおり（ソワニエ看護専門学校 2年）

ジャンボリー 夏企画

ラフティング



9月1日に岡山県連ジャンボリー委員会企画の高知県吉野川ラフティング体験に参加してきました。道中、雨が降ったり止んだりして心配になりましたが現地に着く頃には雨もばつちり上がって晴れ間がのぞいていました。

ラフティングでは、息を合わせてボートを漕いだり激流を下ったり崖から川へ飛び込んだりと、笑いとスリルの絶えない2時間を過ごしました。数年ぶりに泳いだという人もいて、水から上がった後には心地良い疲労感が。帰りのバスではみんな寝てしまっただろうな...と思っていたのですがカードゲームなどで盛り上がり、結局大騒ぎをしながら岡山まで戻りました。

今回の夏企画で普段関わらない事業所の方とたくさん話すことができ、同じ事業所の方とも交流を深めることが出来ました。今後ともこういった交流企画を考えていく予定なので、今回参加できなかった方や興味を持った方は是非次の機会でお会いしましょう！

吉田 幸奈（林道倫精神科神経科病院）

日本医労連全国青年交流集会

アクトインサマー

in 北海道



全国の仲間と北海道を満喫しました！

私は、8月23日（金）〜25日（日）の3日間、北海道・定山溪温泉で開催されたアクトインサマーに参加させていただきました。

全国アクトは、医療・介護・福祉に働く青年の2年に1度の大イベントです。1980年に第1回目を開催して以降、今年で20回目の開催になります。学習やフィールドワークを通じて交流し、友情と連帯の輪を広げるという目的で行っています。参加者のほとんどが入職1〜3年目の青年ばかりということで、初めは馴染めるか不安でした。しかし、班のメンバーは明るく親しみやすい方たちだったので、不安はすぐに吹き飛びました。

また、飲み会交流では仕事の悩みを打ち明けたり、やりがいについて語り合ったりしてメンバーと絆を深めることができました。

違う職種であっても他職種とのコミュニケーションを大切にしなければならぬこと、より良い医療を提供できるようにそれぞれ工夫して業務を行っていることなどは共通していました。そして、働き方や労働組合の大切さについても、劇を交えてクイズ形式で学ぶことができました。ともに学び、語り合い、全国の仲間たちと交流できた大満足の3日間でした。

松岡 伽典（水島協同病院）

読者カードより

今年も平和行進がやってきました。職場で折った千羽鶴に願いを込めて託しました。

今夏は、知覧特攻平和会館を訪れ、平和の大切さを改めて感じました。

（いちご・水島協同病院）

私も今年始めて平和行進に参加しました。外国の方や子ども

たちも参加しており、みんな声を合わせて平和を訴えました。まだまだこういった活動があると思うので、まずは自分が積極的に参加して、少しずつでも広まっていければいいと思います。

（M・岡山ひだまりの里病院）